

荻窪まちづくり通信

発行
荻窪まちづくり会議

第6号

平成 27 (2015)年
7月

荻窪駅周辺地区のまちづくり構想（素案）への ご意見をお寄せください

「荻窪まちづくり会議」は、荻窪駅周辺（半径 500m程度を基本とした区域）を活動エリアとして、地区内に住む人、土地・建物を持っている人、営業している人の有志で構成された開かれた組織で、平成 25 年 6 月に設立しました。

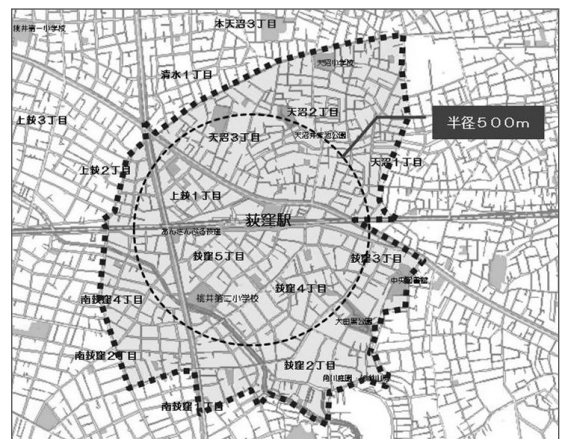
平成 26 年 5 月には杉並区まちづくり条例に基づく「まちづくり協議会」に認定され、これまで、荻窪駅周辺を活力ある安全で暮らしやすいまちとしていくために、その基本的な方向性を「まちづくり構想」として取りまとめる検討作業を進めてまいりました。

約 2 年間にわたる検討の成果を、このたび、「荻窪駅周辺地区まちづくり構想（素案）」として取りまとめました。

以下に掲載いたしますので、皆様方に、ぜひご覧いただき、添付いたしました「意見・提案ハガキ」にて、ご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、皆様方からお寄せいただいた意見も反映させて、杉並区まちづくり条例に基づく「まちづくり構想」として杉並区に提案する予定です。

■まちづくり構想の検討対象区域



荻窪まちづくり会議のホームページ公開中！

荻窪まちづくり会議 地域コム

検索



まちづくりの目標

荻窪駅周辺地区のまちづくりの目標を、次のような7つの視点から検討し、設定しました。

1 南北連携

南口・北口それぞれの地域特性を尊重し、協力し合うまち

2 道路・交通

人にやさしくて、歩きたくなるまち

3 防災・防犯

住民自らが主体的に取り組む、安全・安心なまち

4 商業環境

多様な地域の個性が魅力を高め合う、にぎわいのあるまち

5 コミュニティ

誰もが気軽に情報を得られ、豊かに交流するコミュニティ

6 居住環境

荻窪らしい、暮らしやすい、コンパクトなまち

7 歴史・文化

住民が荻窪を良く知り、歴史文化を育てるまち

まちづくりの現状・課題と方向性

7つの視点から、次のように「現状と課題」を整理し、「まちづくりの方向性」を取りまとめました。

1 南北連携

【現状と課題】

- JR線南北の人・自転車等の通行動線を改善・強化する必要がある
- 駅利用や乗り換え等における人の動線分離ができていない
- 駅前広場機能や人が集まれるオープンスペースが少ない
- JR荻窪駅の安全性を高めるため駅施設を改善する必要がある
- 震災時に求められる駅周辺や鉄道空間の役割を考慮する必要がある
- 南口・北口それぞれの地域特性を尊重し、活かした駅周辺のまちづくりを進める必要がある

※南北連携に関する取組には、実現にあたり時間のかかるものも多く含まれます。そこで、各提案項目に以下の印をつけました。

- ★：早期の実現を目指す取組
- ☆：10～20年後のまちの更新時期を見据えて検討に着手する取組

【まちづくりの方向性】

(1) 南北の通行動線の改善・強化

- ①東口改札前地下通路の改善・強化 ★
 - ・災害時や夜間も通行も可能な、「24 時間自由通路」への改善
 - ・改札前で人が待ち合わせできる空間確保のための通路拡幅やエスカレーター（下り）の増設等
 - ・JR線と地下鉄丸ノ内線の乗り換え専用改札口の設置・拡充、JR線のルミネ専用改札口の設置など、改札前の人の動線の分離の検討
- ②荻窪地下道や環八通り地下通路の改善・拡幅 ★
 - ・地下道を明るくきれいにし、防犯カメラや警報装置の設置など防犯の視点からの改善
 - ・自転車の押し歩きがしやすくなるよう自転車搬送用コンベアの設置等の改善や通路の拡幅
- ③自転車等が通行できる新たな地下通路の整備 ★
 - ・歩行者や自転車等がスムーズにJR線線路の下を横断できる新たな通行動線の整備の可能性検討
- ④西口改札前通路の改良 ★
 - ・ホーム延伸工事等の機会を捉えた、通路拡幅やエレベーター増設等の改良
- ⑤コミュニティバス路線の導入 ★
 - ・荻窪駅を中心に南北をつなぐ新たなコミュニティバス路線の導入検討
- ⑥西口改札前通路等の拡充 ☆
 - ・駅前のまちの機能更新の時期を見据え、JR線路上空を活用した橋上デッキにより、南北をつなぐ交通動線の強化や広場スペースの整備等のあり方の検討

- (2) 駅前広場の充実
 - ①北口駅前広場の改善 ★
 - ・ベンチや日よけ屋根を設置するなど人の待合スペースの改善
 - ②北口駅前広場の拡張 ☆
 - ・北口駅前広場等の上空や地下の活用、周辺の再開発との連携など、駅前広場機能の強化等に資するまちづくりの展開の検討
 - ③南口の駅前広場空間の確保 ☆
 - ・駅前広場のない駅南口における駅前広場の用地確保のあり方の検討
- (3) 駅機能の改良・活用 ★
 - ・ホームドアの設置や災害時の人の滞留空間確保など駅施設の安全性向上
- (4) 実現に向けた協議体制づくりと調査・検討
 - ・取組の実現に向けて、JR東日本、東京メトロと区の三者協議会などを設け、具体的な計画条件の検討・協議 ★
 - ・JR線路上空の有効活用など長期を見据えて新たな整備方策の追求 ☆

- 【東口改札前地下通路】
- 24 時間自由通路化
 - 通路空間の拡幅
 - エスカレーター増設
 - 乗り換え動線の分離等



●人の動線が集中する荻窪駅東口改札前地下通路

- 【荻窪地下道】
- 自転車の押し歩きがしやすくなるような改善
 - 通路空間の拡幅 等



●防犯等の安全面から改善が求められる荻窪地下道



- 【環八通り地下通路】
- 自転車の押し歩きがしやすくなるような改善
 - 通路空間の拡幅 等

- 【西口改札前通路】
- 通路空間の拡幅
 - エレベーター増設 等

- 【荻窪駅】
- ホーム・駅舎の改良
 - 災害時の鉄道用地の活用 等

- 【北口駅前広場】
- 待合スペースの改善
 - 北口駅前広場の拡張 等

2 道路・交通

【現状と課題】

- 歩道における歩行者と自転車の交錯など、自転車走行に関する問題が増えている
- 生活道路における歩行者の交通安全対策を充実していく必要がある
- 買い物に際して自転車駐車に困ることが多い
- 歩行者空間には様々なバリア（障壁）が存在する
- 公共施設の維持管理や更新に要する費用が増大している
- 案内標識・誘導サインがわかりにくい

【まちづくりの方向性】

(1) 歩行者の安全性を基本とした道路環境の改善

①自転車と歩行者の動線分離など歩行者の安全性確保

- 青梅街道等における自転車レーンなど自転車通行動線の確保方法の検討
- 商店街や駅から一定の範囲における「自転車押し歩きエリア」などの検討
- 自転車の徹底取り締まりと自転車運転マナー向上

②生活道路の交通安全対策の検討

- 南口駅前通りの歩行者空間等の改善の検討
- 南口バス通りの歩行者と自動車・自転車の分離による歩行者空間確保の検討
- 商店街や住宅地内の生活道路における自動車の通行規制・速度規制などの歩行者の安全対策の検討
- 震災救援所や東京衛生病院へのアクセスとなる若杉通りの拡幅整備の推進
- 大田黒公園前の道路（近衛通り）の安全で快適な歩行者空間・沿道空間の整備と交通規制の検討

③駅前の自転車駐輪対策の推進

- 買物客用の自転車駐車場の確保
- 附置義務のない小規模な店舗等の集合する商店街における自主的な自転車駐車スペースの確保

(2) 歩行者動線のバリアフリー化

①安全・快適な歩行者空間の形成

- 歩行空間のバリアフリー対策
- 歩行空間におけるベンチ設置など歩いて楽しめるまちづくりの促進
- 路上障害物の除去など安全な歩行者空間の確保
- ネーミングライツなどによる地域住民等の参加による道路の維持管理システムの検討

②無電柱化（電線類の地中化）の促進

- 環八通りや南口バス通りなどの幹線道路や主要な生活道路における無電柱化の促進
- 身近な生活道路における無電柱化の検討

③わかりやすい交通誘導の検討

- 交通標識・誘導サインの改善計画の検討
- 人にやさしい誰もが集えるまちづくりの促進

【若杉通り】

- 緊急車両が円滑に通行できるように拡幅整備を推進



- 震災救援所等へのアクセスとなる若杉通り

【商店街】

- 自動車の速度規制の強化や時間規制等の検討

【商店街・駅周辺】

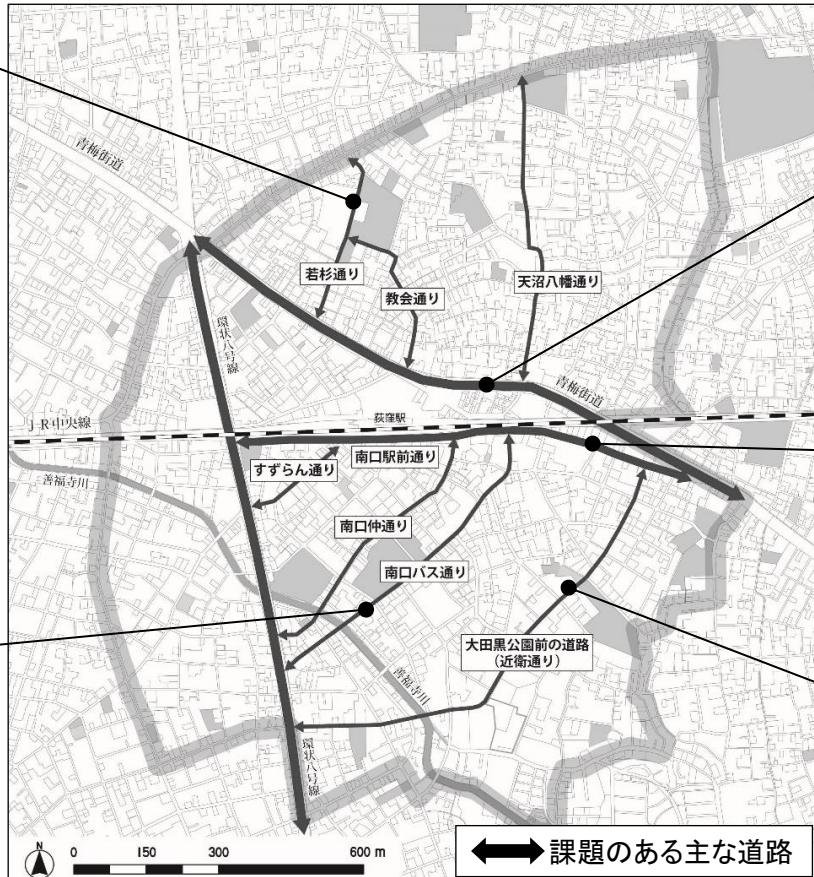
- 「自転車押し歩きエリア」の検討

【南口バス通り】

- 歩車分離による歩行者空間確保や安全性確保の検討



- 歩道の確保が必要な南口バス通り



【青梅街道】

- 「自転車レーン」の検討



- 自転車レーンの事例

【南口駅前通り】

- 歩行者空間の安全性の確保
- 自転車走行空間の確保の検討
- 買物客用の自転車駐車場の確保

【大田黒公園前の道路（近衛通り）】

- 歩行者空間の安全性の確保
- 沿道空間の整備
- 交通規制の検討



- 抜け道となっている大田黒公園前の道路

3 防災・防犯

【現状と課題】

- 大震災時に課題を抱える市街地が広がっている
 - ・天沼地域は、狭い道路が多く木造建物が密集する住宅地となっている
 - ・荻窪駅周辺には、災害時に来街者の一時滞留空間となるような広場・オープンスペースが不足している
- 自主防災組織の高齢化、固定化などにより地域での防災力が低下している
- 善福寺川の浸水対策などを注視する必要がある
- 地域での防犯力を強化する必要がある

【まちづくりの方向性】

(1) 防災まちづくり

①地域コミュニティによる防災まちづくり

- ・事前に自分の部屋・家・仕事場の安全性を確認（自助の促進）
- ・隣近所における声掛け・助け合い・救援救護の体制づくりの促進
- ・隣近所での初期消火活動の実施体制の強化（防災用貯水槽、D級ポンプやスタンドパイプ・消火器設置や防災訓練の促進）
- ・防災マップ・情報案内ボード等の作成と公開
- ・日常の地域活動を通じた近隣及び地域での防災力の向上等

②地域での防災まちづくりを支える基盤づくり

- ・震災救援所（天沼小学校、旧若杉小学校、桃井第二小学校）や第二次救援所（荻窪地域区民センター等）、補助・代替施設（都立荻窪高校等）などの防災拠点機能の向上
- ・震災救援所等への避難経路の安全性向上
- ・駅前広場等の上空や地下の活用、周辺再開発との連携など駅前広場機能の強化に資するまちづくりの展開検討

- ・公園・広場の整備
- ・狭あい道路の拡幅整備・電柱移設の促進
- ・建物の防災性能の向上と密集化の防止

③災害対策（水害）の促進

- ・緑地や透水性舗装などの促進による雨水地下浸透の促進

(2) 防犯まちづくり

①まちの防犯体制の強化

- ・地域ぐるみの通学路の見守り体制の強化
- ・防犯パトロールの充実
- ・商店会、町会、学校、警察や有識者等を交えた防犯マップづくりの検討

②まちの防犯設備の充実

- ・街路灯のLED照明への見直しや公共負担のあり方等の検討
- ・防犯カメラのネットワーク構築と情報管理方法の検討

【天沼地域】

- 狭あい道路の拡幅整備・電柱移設の促進
- 建物の防災性能の向上と密集化の防止



●狭い道路が多い木造住宅密集地域

【震災救援所】

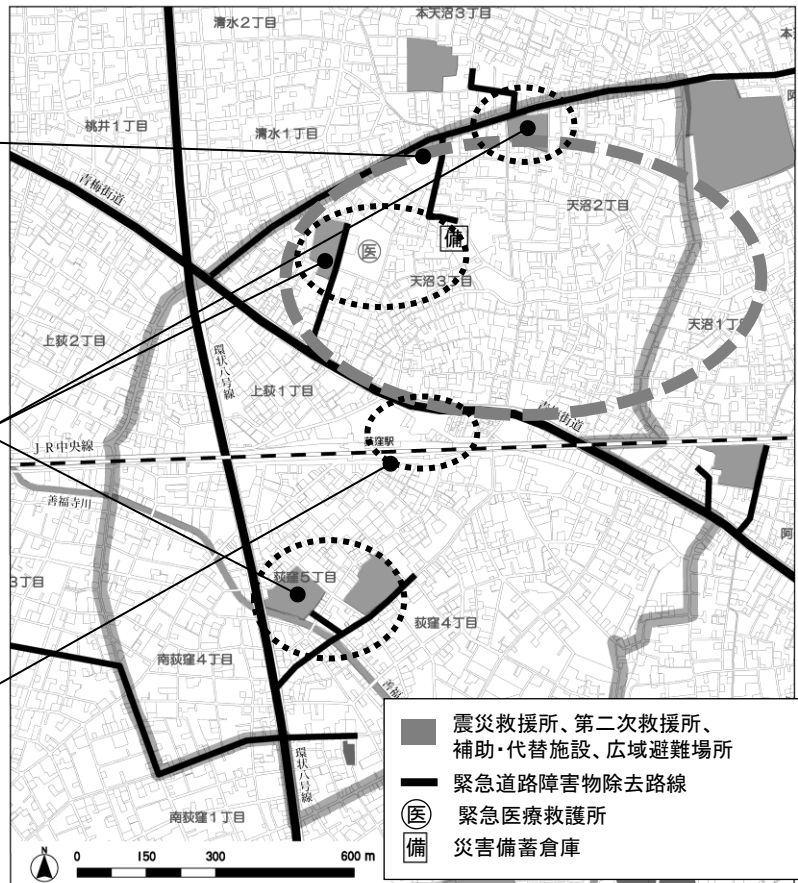
- 震災救援所等の防災活動拠点機能の向上

【荻窪駅北口】

- 北口駅前広場の上空や地下を防災上有効な空間として活用
- まちの更新時期を見据えた駅前広場機能の強化に資するまちづくりの展開を検討



●駅前広場周辺の木造の店舗が密集する商店街



4 商業環境

【現状と課題】

- 区内最大の駅である荻窪駅周辺の商業地のにぎわいと、良好な住宅地が近接して広がっている
- 大規模店舗と飲食店中心のにぎやかな北口、各業種が立地する比較的落ち着いた南口と、荻窪駅を挟んで南北で商業環境が異なっている
- 「荻窪らしさ」を積極的に地区住民や来街者に発信する取組を考える必要がある
- 荻窪駅周辺に放射状に広がっている複数の商店街間の回遊性の確保と、それを支える商店街どうしの協力関係の構築の検討が必要である

【まちづくりの方向性】

(1) 魅力的な商業のにぎわいづくり

① 特色ある商業環境づくり

- ・アニメ、クラシックなどの特色の活用、既存施設活用による拠点づくり、更新時期を捉えた既存店舗・商業施設における再開発の検討

② 個性的な魅力ある店舗づくり

- ・魅力ある店舗の誘致、店舗＋公共サービスの新しい場づくり、後継者のいない店舗を継承する仕組みづくり、各店舗の経営支援の仕組みの周知

(2) 荻窪らしいイベントづくり

① 荻窪の魅力をPRし、来街者を増やすイベントの開催

- ・各商店会合同イベント、イベント開催のための推進委員会の設立、荻窪まちづくり会議によるイベント開催

② イベント空間の確保

- ・駅前イベント空間の確保、既存空間の転用等

(3) 荻窪の魅力を伝える情報発信の強化

① 効果的な情報発信方法の検討・実施

- ・商店会合同ウェブサイト、公式ガイドブックの発行等

② 情報発信拠点の整備

- ・総合案内所、デジタル掲示板の設置

③ 情報発信の主体づくり

(4) 商店街やまちの回遊性の向上

① 歩きやすい商店街づくり

- ・商店街での自動車・自転車の規制、駐輪場スペースの確保、商店街舗装の改修検討、商店街周辺の広場整備

② 放射状に広がる商店街間をつなぐ道の活性化

- ・各商店会間をつなぐ道の舗装の改良、緑化の推進、カフェ等の誘致

③ 回遊性を生み出すための文化施設等の整備の検討

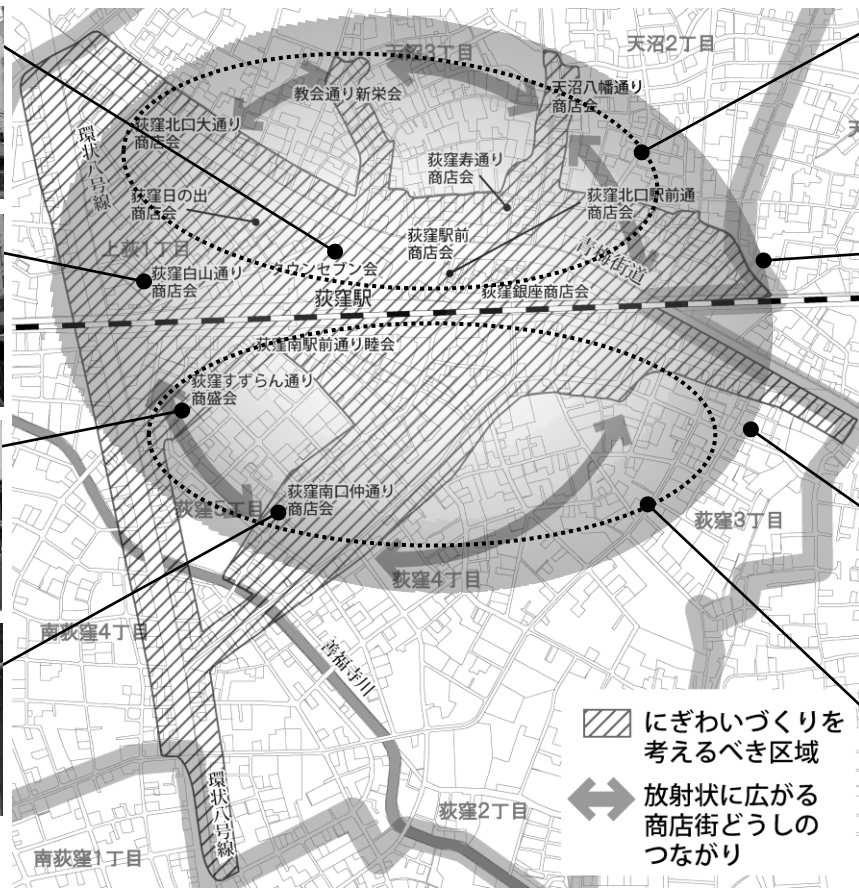
- ・小規模ホール、美術館、荻窪ゆかりの文化人の資料館等

○ 駅周辺各商店街の地区特性に応じたにぎわいづくり
 ・(駅北口)
 区内最大の駅にふさわしい、来街者のニーズにこたえるにぎわい

○ 商業地としての荻窪全体のブランドづくり
 ・荻窪の歴史・文化資源を背景に、落ち着いた魅力为基础としたブランドイメージを構築

○ 住宅地とバランスのとれたにぎわいづくり
 ・商店街に近接した住宅地の環境に配慮したにぎわいづくり

○ 駅周辺各商店街の地区特性に応じたにぎわいづくり
 ・(駅南口)
 地域住民のための高感度なにぎわい



にぎわいづくりを
考えるべき区域
 放射状に広がる
商店街どうしの
つながり

5 コミュニティ

【現状と課題】

- 地域活動の場や活動実態が十分に知られていない
- 高齢者や壮年層などにとって、地域活動への参加機会が得にくい
- 誰もが気軽に参加できる交流の場が必要である



【まちづくりの方向性】

(1) 地域活動情報を誰もが気軽に得られる環境づくり

- ①地域の活動情報の一元化
 - ・地域活動の情報を一元化し、誰もが簡単に検索ができるしくみづくり
- ②地域活動情報を得られる「荻窪案内所」づくり
 - ・来街者への案内、地域住民への地域活動情報の案内等
 - ・可能であれば、コミュニティサロンの機能も併せ持つ
- ③誰でも情報を知ることができる仕組みづくり
 - ・多様なニーズに応じた情報を得られる仕組みづくり

(2) 地域活動の活性化

- ①住民の地域活動への参加促進
 - ・住民が気軽に来る場、一定の仕事ができる場などの充実、地域活動の方法を教える講座の充実、町会によるラジオ体操への参加の推奨
- ②町会活動との連携
 - ・町会活動の周知のためのホームページの充実、防災の話し合いを契機としたコミュニケーション促進等

(3) 地域活動の場づくり

- ①具体的な交流の場づくり：新たな場づくり（コミュニティサロン）
 - ・多世代交流の場となるコミュニティサロンづくり
 - ・施設としての入りやすさを重視
- ②空き店舗・空き家の活用などによる活動の場づくりの推進
 - ・空き店舗等を活用した地域活動の場づくり、活動の場を探している人と空き店舗所有者とのマッチングの仕組みづくり、税制などサロンの借上げにかかる仕組みの充実

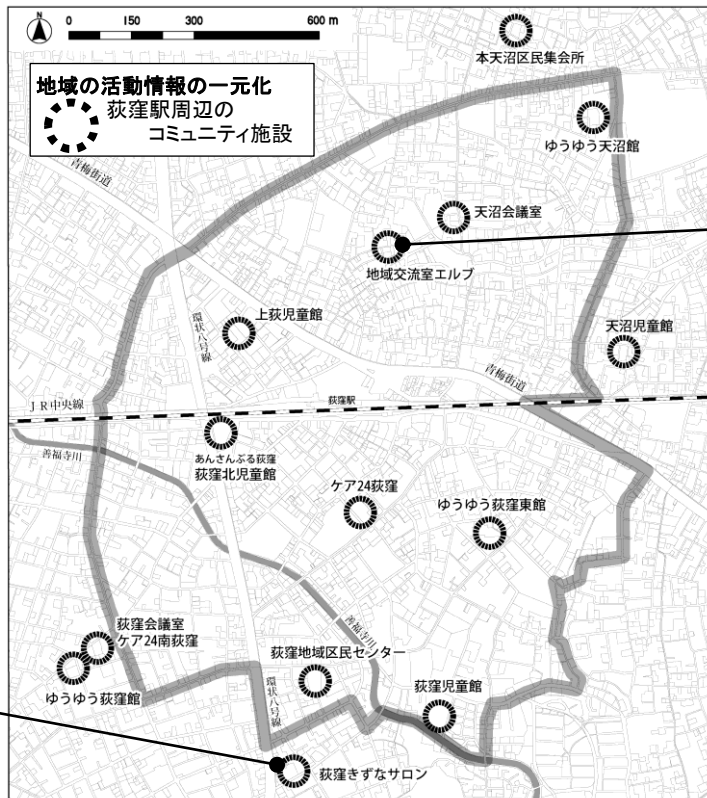
(4) 地域活動相互の連携促進

- ①地域活動相互に連携できる場と機会の充実
 - ・各種地域活動のリーダーによる情報交換の場の確立、荻窪まちづくり会議を基礎とした交流の場の検討
- ②多様な主体の連携の促進
 - ・行政と連携した地域活動情報の集約と整理、スポンサーとしての民間企業との連携

【ゆうゆう館】

高齢者の健康増進、生きがい支援等を目的とした施設

地域の活動情報の一元化
荻窪駅周辺の
コミュニティ施設



【地域交流室エルブ】

多世代交流の場（学習の場のほか、高齢者や子育て世代が気軽に集えるスペースとして利用可能）



【荻窪きずなサロン】

世代を問わず地域住民が交流する場（毎月第2水曜の2時間開催）



【ケア24「地域包括支援センター」】

高齢者の介護相談や生活支援等を目的とした施設。交流サロン等も運営

6 居住環境

【現状と課題】

- 交通の便がよい一方で、JR線や青梅街道、環状八号線により地域が分断され、エリアごとに地域特性や居住環境が異なっている
- オープンスペースの整備や道路整備が進んでいないエリアがある
- エリアごとに、みどりについて特色がある地区である
 - ・大田黒公園地区周辺は、川・台地など起伏が豊かな地区である。また、善福寺川付近は自然が豊かだが、歩行者が快適に歩ける空間としては活かしきれていない
 - ・荻窪4丁目地区は静かな雰囲気を保っているものの、これまでよりは沿道のみどりや庭の樹木等が減少している
 - ・天沼2・3丁目地区は狭小スペースを工夫しながら緑化している箇所が見られるが、全体として道路沿道のみどりが少ない状況である

【まちづくりの方向性】

(1) 地区特性に応じた、荻窪らしい住環境等の整備

①地区特性に応じた住環境を守り育てるための建築のルールづくり

- ・天沼2・3丁目地区、荻窪駅周辺、荻窪4丁目地区（下図参照）に分けて、建築協定、景観協定、地区計画等のルールづくりや計画づくりを推進

②多世代が暮らせるまちづくりの推進

- ・高齢者や生活者の視点に立った、多世代が暮らせるコンパクトな街の形成

③大田黒公園周辺地区の景観まちづくりの推進

- ・荻窪のさらなるイメージアップ、ブランド化をめざしたモデル地区としてのまちづくりの推進

(2) オープンスペースの確保と地区特性に応じた道路整備の推進

①子どもや中高生（青少年）世代をはじめ多世代が快適に過ごせるコミュニティスペースの確保

- ・公共施設の活用、民間施設の借り上げ、空地の活用による高齢者のためのコミュニティ施設や中高生世代の拠点づくり

②震災時に避難可能なオープンスペースの確保

- ・駅周辺あるいは駅前に、災害時の帰宅困難者対策にも対応でき、防災機能を備えたオープンスペースの確保

③地区特性に応じた歩行者や生活者の視点に立った道路等の整備推進

- ・天沼2・3丁目の生活道路の整備、カラー舗装による歩行者と車の道路の棲み分け
- ・天沼八幡通り、大田黒公園前の道路（近衛通り）などの歩道整備
- ・青梅街道の自転車レーンの整備検討

(3) 快適で質の高いみどりの空間づくり

①既存のみどりの保全と、連続性のあるみどりの形成

- ・既存のみどりが保全しやすい仕組みの検討
- ・店舗や住宅のみどり、公園・道路のみどりをネットワーク化

②地区特性に応じた緑化と親しみのもてる空間の創出

- ・善福寺川沿いの緑地・プロムナードの整備、ブロック塀の生け垣化、公開空地の確保等による緑化の推進

【地域全体】

- 地区特性に応じた住環境を守り育てるためのまちづくりのルールづくりの推進
- 子どもや中高生（青少年）世代をはじめ、多世代が快適に過ごせるコミュニティスペースの確保
- 既存のみどりの保全と、連続性のあるみどりの形成
- 多世代が暮らせるまちづくりの推進

【青梅街道】

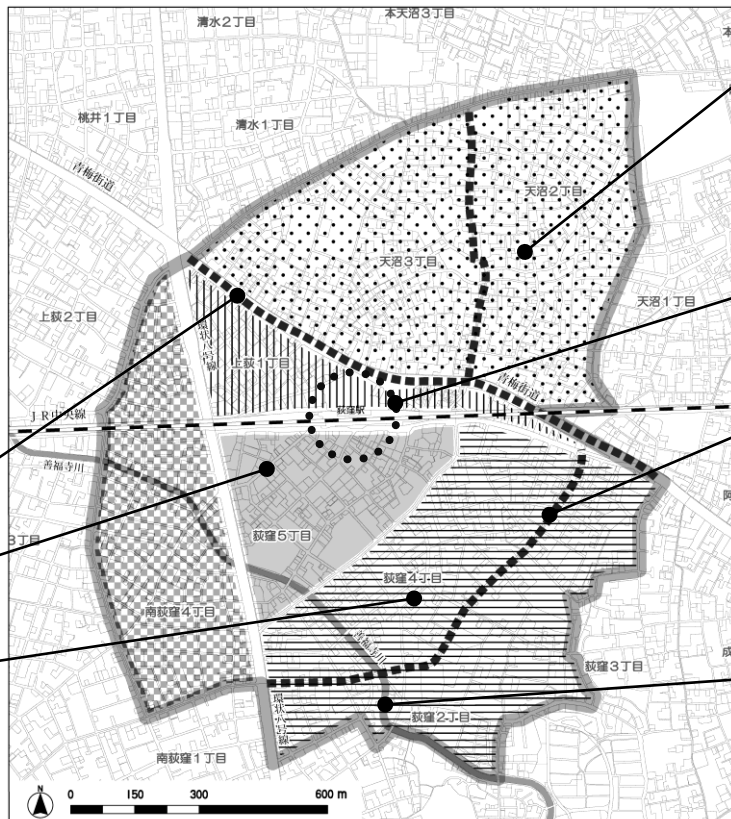
- 「自転車レーン」の検討

【駅周辺・荻窪5丁目】

- 公開空地等を活用した緑化の誘導

【荻窪4丁目（大田黒公園周辺地区）】

- 大田黒公園周辺地区の景観まちづくりの推進
- 歩道の整備、交通ルールの徹底



【天沼2・3丁目】

- 緊急車両が通れる生活道路の整備、歩車分離の明確化
- ブロック塀の生け垣化の推進

【駅周辺】

- 震災時に避難可能なオープンスペースの確保

【大田黒公園前の道路（近衛通り）】

- 歩道の整備

【荻窪4丁目の善福寺川沿い】

- 善福寺川に沿って環状八号線まで通じる散歩道の整備の検討



7 歴史・文化

【現状と課題】

- 荻窪駅周辺には、荻外荘、大田黒公園、角川庭園、文士（与謝野晶子・鉄幹、井伏鱒二、太宰治等）の旧宅、寺社や用水路などの豊富な文化・歴史資源があるが、住民や来街者に十分に知られていない
- 文化施設や商店街、寺社等での文化活動やイベントに関する情報が十分に伝わっていない
- 文化活動の活性化に向けた、活動場所や支援の充実が必要である

【まちづくりの方向性】

(1) 荻窪の歴史・文化の情報発信

① 荻窪の歴史・文化に関する情報の共有化

- ・ 歴史・文化資源、イベント情報の共有化

② 情報提供手段の充実

- ・ ホームページや SNS、広報誌等情報提供手段の充実

③ 荻窪の歴史・文化の情報発信拠点の整備

- ・ 住民主体のインフォメーションセンター・ビジターセンター、大型情報掲示板等の整備

(2) 歴史・文化資源を活かした景観まちづくり

① 歴史・文化資源の保全

- ・ 所有者の理解・協力を得て保全を推進

② 歴史・文化資源の総合的なサインの整備

- ・ 歴史・文化資源をめぐるルート、わかりやすいサインの整備

③ 歴史・文化資源のマップの作成やガイドの養成

- ・ 住民ボランティアによるガイドやマップの作成

④ 歴史・文化資源をめぐるルートの安全・快適化

- ・ 歩行環境の改善、バリアフリー、ミニバス等の移動手段の充実

⑤ 歴史・文化を活かした景観づくり

- ・ 武蔵野の原風景を活かした植栽、歴史・文化資源と調和する街並みの形成

(3) 荻窪の文化を活かした活動やイベントの活性化

① 『文化のまち荻窪』のアピール

- ・ 荻窪音楽祭の年間を通じた定期的実施の検討、等

② 文化活動の場の充実、マッチングの実施

- ・ 歴史・文化資源、空き店舗等を活用した活動場所の発掘・充実、活動団体への紹介

③ 文化活動・イベントの支援の充実

- ・ 区や地域による支援、町会や商店会との連携

④ 住民が荻窪の歴史・文化を知る機会の充実

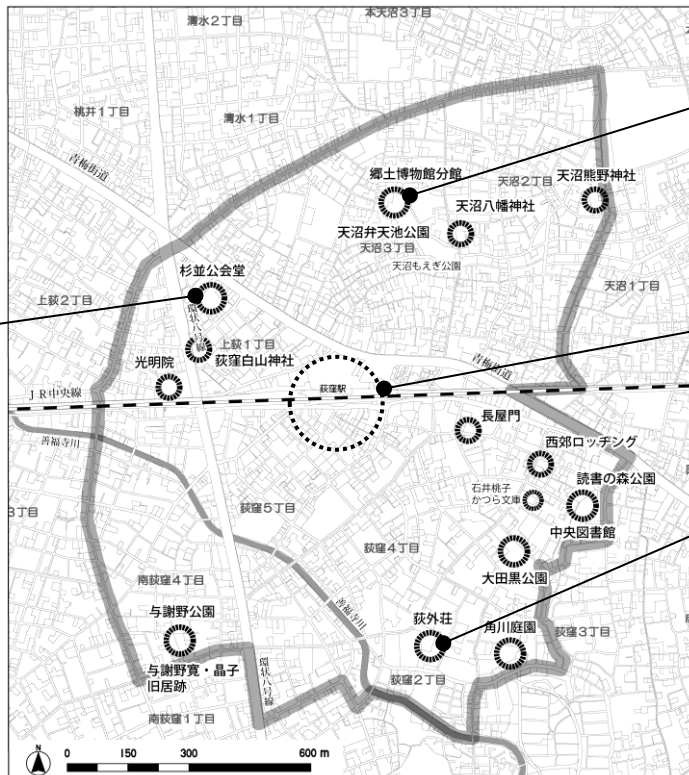
- ・ 新たな文化イベントの実施や子どもたちへの継承

【地域全体】

- 歴史・文化資源をめぐるルート、わかりやすい案内サインの整備、モビリティの充実
- 荻窪の文化を活かした活動・イベントの活性化

【杉並公会堂】

- 歴史・文化の情報発信拠点として育成



【郷土博物館分館】

- 歴史・文化の情報発信拠点として育成



【駅周辺】

- 住民主体のインフォメーションセンターまたはビジターセンターの整備
- 大型情報案内板の整備

【荻外荘】

- 歴史・文化の情報発信拠点として育成



問い合わせ先

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1

都市整備部 まちづくり推進課 荻窪まちづくり担当

TEL : 03-3312-2111 (内線 3382)

FAX : 03-3312-2907

■まちづくり構想の検討対象区域と回収箱の設置場所



回収箱の設置場所

- ①荻窪区民事務所前 ◎
上荻 1-2-1 インテグラルタワー2階
- ②杉並保健所 入口ロビー
荻窪 5-20-1
- ③中央図書館 1階
荻窪 3-40-23
- ④報恩商店 店内
上荻 1-6-10
- ⑤郷土博物館 分館 西棟受付
天沼 3-23-1
- ⑥タウンセブン 1階セントラルコート ◎
上荻 1-9-1
- ⑦杉並公会堂 1階管理事務所前
上荻 1-23-15
- ⑧荻窪地域区民センター 1階窓口 ◎
荻窪 2-34-20

◎の場所では、このまちづくり構想（素案）のパネル展示も行っています。

ミシン目に沿って切り取ってご使用ください

52円切手
をお貼り
ください

郵便はがき

167-0032

【意見・提案ハガキ送付先】

東京都杉並区天沼3-6-2
（茶道具 春日園 内）
荻窪まちづくり会議
事務局 行

Q1. 回答者についてお教えてください。

■お住まい

〔対象区域内の方：杉並区（ ）（ ）丁目〕
〔対象区域外の方：杉並区内・杉並区外 〕（どちらかに○）

➔■居住歴〔約 年〕

■営業場所（対象区域内で営業されている方のみ）

〔杉並区（ ）（ ）丁目〕

■年齢〔 歳代〕 ■性別〔男・女〕

意見・提案ハガキの提出方法

- 検討対象区域 : まちづくり通信の1ページまたは裏面の地図をご覧ください。
- 提出方法 : 下のハガキを切り取り、回答を記入のうえ、
平成 27 年 8 月 5 日 (水) (消印有効) までに
52 円切手を貼って、ポストに投函してください。
- 回収箱の設置 : 意見・提案ハガキの回収期間中、回収箱を設置します。設置場所は、裏面をご参照ください。
回収箱を利用される場合は、切手は不要です。
- 電子メールによる提出方法 : 意見・提案ハガキの回収期間中、電子メールによる提出もできます。
ハガキと同内容を記入のうえ、ogikubomachi@gmail.com まで
お送りください。

※意見・提案ハガキに関する質問等は、ハガキの右枠の問合せ先までご連絡下さい。

ミシン目に沿って切り取ってご使用ください

Q2. まちづくり構想に対する ご意見・提案をお聞かせください。

【意見・提案テーマ】まちづくり構想の

について

【内容】

ご協力ありがとうございました

荻窪まちづくり会議

ホームページ公開中！

まちづくり構想の骨子案*
などをご覧ください！



荻窪まちづくり会議 地域コム

検索

※まちづくり構想骨子案…この素案の元となる資料です。まちづくり会議で出された意見の詳細を見ることができます。

■問い合わせ先

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1
都市整備部 まちづくり推進課
荻窪まちづくり担当

TEL : 03-3312-2111 (内線 3382)

FAX : 03-3312-2907